

議 事 録

会 議 の 名 称	第 2 回 学校規模学校配置適正化検討委員会																																								
開 催 日 時	平成 2 6 年 3 月 3 0 日 (日) 1 4 時 0 0 分～																																								
開 催 場 所	小川総合支所 3階 大会議室																																								
出 席 者	<p>【出席委員】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td>加藤 崇英</td> <td>村田 春男</td> <td>戸田 見成</td> <td>萩原 茂</td> </tr> <tr> <td>内田 裕</td> <td>磯野 宏人</td> <td>石川栄美子</td> <td>野原 芳浩</td> </tr> <tr> <td>磯部 公一</td> <td>松本 建治</td> <td>堀井 陸司</td> <td>野口 孝</td> </tr> <tr> <td>小松 政治</td> <td>飯島 利武</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>【欠席委員】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td>柴山 久</td> <td>押手 哲也</td> <td>吉田 洋史</td> <td>石川 正</td> </tr> <tr> <td>岩瀬 彩香</td> <td>稲田 弘</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>【教育委員】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td>鶴町 庄二</td> <td>澤畠 照子</td> <td>中村 三喜</td> <td>沼田 新</td> </tr> <tr> <td>野手 利江</td> <td>加瀬 博正</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>【事務局】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td>我妻 智光</td> <td>戸塚 俊宏</td> <td>真家 厚</td> <td>菅谷 清美</td> </tr> <tr> <td>藤田 絹子</td> <td>佐々木 浩</td> <td>菅澤 富美江</td> <td></td> </tr> </table>	加藤 崇英	村田 春男	戸田 見成	萩原 茂	内田 裕	磯野 宏人	石川栄美子	野原 芳浩	磯部 公一	松本 建治	堀井 陸司	野口 孝	小松 政治	飯島 利武			柴山 久	押手 哲也	吉田 洋史	石川 正	岩瀬 彩香	稲田 弘			鶴町 庄二	澤畠 照子	中村 三喜	沼田 新	野手 利江	加瀬 博正			我妻 智光	戸塚 俊宏	真家 厚	菅谷 清美	藤田 絹子	佐々木 浩	菅澤 富美江	
加藤 崇英	村田 春男	戸田 見成	萩原 茂																																						
内田 裕	磯野 宏人	石川栄美子	野原 芳浩																																						
磯部 公一	松本 建治	堀井 陸司	野口 孝																																						
小松 政治	飯島 利武																																								
柴山 久	押手 哲也	吉田 洋史	石川 正																																						
岩瀬 彩香	稲田 弘																																								
鶴町 庄二	澤畠 照子	中村 三喜	沼田 新																																						
野手 利江	加瀬 博正																																								
我妻 智光	戸塚 俊宏	真家 厚	菅谷 清美																																						
藤田 絹子	佐々木 浩	菅澤 富美江																																							
協 議 案 件	・各小学校区地域協議会の報告																																								
会 議 資 料	別 紙 (会議次第、 他)																																								
記 録 方 法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録																																								
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 (傍聴者 0 人)																																								

事務局 今年度、第2回目になる学校規模学校配置適正化検討委員会を開催させていただく。開催にあたり、加藤委員長に挨拶をいただきたいと思います。

委員長 本日、学校規模学校配置適正化検討委員会第2回となる。昨年に第1回を開催し、それから少し間が開いた。その間、各小学校区で地域協議会を開催し、熱心に議論が進められたということで、私も部分的には報告をいただいている。今日、全体的なところを把握できるということ。皆も全て知っている方は、それほど多くないのではないかと思う。今日は、事務局から報告をいただき、関連の質問等を中心に協議会を進めていきたいと思う。協力いただければと思う。簡単だが、挨拶に代えさせていただく。

事務局 続きまして、教育長より、挨拶を申し上げます。

教育長 忙しい中、足元が悪い中、大変感謝したい。前に中間答申をいただき、各小学校を中心とした地域協議会を合計33回開き、意見等を頂戴しているところ。まだ終わっていない、これからというところも残っているが、だいたい意見が出揃ってきたかというような感じ。更にそれを受けて、代表者会議が小川地区で進んできた。玉里地区は、これからという状況。こちらも4月上旬に行う予定となっている。検討委員会を開いていただいて、感謝したい。今までのところを報告するとともに、今後どうしたら良いのかということも審議いただければ幸い。よろしくお願ひしたい。

【協 議】

(1) 各学校区地域協議会の報告

事務局 それでは、早速協議の方に入りたい。協議の進行は、加藤委員長にお願いしたい。

委員長 それでは、手元の次第に沿って進めたいと思う。各小学校区地域協議会の報告が中心の協議議題になっている。まずは、事務局から報告、説明をお願いしたい。

事務局 事務局より小学校区地域協議会の報告をしたい。まず、昨年10月に第1回目の検討委員会を開催し、その中で中間答申の説明をさせていただいた。各小学校区において、中間答申についての話し、各地域の方々から意見等をいただいた。最終答申に向けて議論していければということで、その10月の検討委員会の後、各小学校に地域協議会の委員の選出をしていただいた。その後の12月より、各小学校区で地域協議会を始めた。1つの協議会には、各学校区により委員の数は様々だが、20名以内となっている。その概要について説明をさせていただきたい。

事務局より説明

※資料参照（学校適正化にかかる地域協議会の状況について）

事務局 統合対象の3つの地域のうち、2つの地域においては、代表会議を実施している。野田、上吉影、下吉影小学区では、4月8日に第2回目を開催する。その中で、事務局からシミュレーションを示し、判断をいただくところ。早ければ、4月8日に方向性が示されるのではないかと見込んでいる。そして、玉里東小学区は、4月4日に第5回目の地域協議会を実施する。その中でアンケート結果を示し、それを基に方向性を示していただくという予定。その後、玉里地区の代表会議を実施するという事になってくる。なので、早くて4月中に方向性が示されるのではないかと見込んでいるが、3つの小学校区が集まって議論をしないと分からない部分もある。なので、現状としては、3月中の最終答申は難しい。事務局の報告は以上になる。よろしくお願ひしたい。

委員長 かなり精力的に各地域協議会を行っていただいている。また、詳細な資料にまとめていただき、大方全体の流れやこれまでの経緯を分かっていたかと思う。学校や地域によって、進捗状況の多少の違いはある。この会議は、経過を確認するという途中の段階ではあるが、そのような意味もあり、今日は、関連した質問や意見等をいただきたいと思う。いかがか。簡単な質問等を含めていただいても構わない。

委員長 今日の報告で内容、状況について、だいたい分かっていたかということでもよろしいか。多分、情報は直接、間接に聞いている委員も多いのではないかと思う。

委員 事務局から説明があった。再編に向けて進んでいる状況について分かった。小川地域については、旧小川高校という記述が各所にあった。事務局に聞きたい。旧小川高校は、県の建物。密かに裏で進んでいるか。

事務局 実は、旧小川高校については、県が売却ということで、小美玉市に旧小川高校の利用について問われているところ。そういった中で、県から昨年度に回答を望まれていた。だが、学校の統合再編の中で、旧小川高校をどう利用していくかという議論をしていく必要があるということで、回答を1年間待っていただいた経緯がある。その期限が、この3月。再編の中で、旧小川高校の活用が可能という方向性が出てきたので、改めて市から県に購入の申し入れをする運びになるかと思う。よろしくお願ひしたい。今日の検討委員会では、各小学校区の状況を説明させていただいた。旧小川高校の利用について、その方向で良いだろうという結論を出来れば、本日いただければと思う。よろしくお願ひしたい。

委員 小川小と橘小の代表者会議を2回行った。その中で、場所等の色々な話が早めに出て、いずれにしても統合は止むを得ないだろうということだった。倉敷地区の方などの少し遠い場所に住む父兄の方は、スクールバスがあれば安心だろうという話だった。場所は、どこが良いのだろうという話になった時は、旧小川高校が空いていると。それではどうするかという話では、小学生が高校の設備を使うことは難しいと。南中が小川高校に移転し、南中の場所に再編した小学校が移転すると。小川、橘の場合には、互いに合意して着々と話が進み、2月6日に、その方向でよろしくお願ひしますということ。これが、現在の動向。

委員 事務局に確認したい。小川地区では議論が進み、校舎を新築という話があると思う。実現は、財政的に可能なのか。

委員長	高校の活用についてということか。
委員	高校の活用や校舎を新築、改築といったことはどうなのか。
事務局	財政的に可能かどうかということだが、即答は出来ない。だが、教育委員会、小美玉市としては、各地域協議会の意見、検討委員会の意見を可能な限り尊重させていただき、予算の確保に取り組んでいきたい。もちろん、国や県の補助金や合併特例債といった有効なものを最大限に活用し、議会に理解をいただきながら、実効性のある実施計画を策定していきたい。平成26年度中には、予算の裏づけをした具体的な実施計画を策定していきたい。よろしくお願ひしたい。
委員長	他に意見や質問は、いかがか。
委員	代表者会議の協議内容において、野田、上吉影、下吉影の代表会議が4月8日とある。その中で、事務局より小中一貫教育を視野に入れた内容でシミュレーションを示すとしている。そのシミュレーションは、既に出来ているのか。
事務局	現在は、作業途中。原案は出来ている。北中周辺の未利用地の状況等の中で、統合小学校の校舎の大きさやグラウンドの大きさを考慮した適正な配置は、どのあたりが良いのか。更に、小中一貫教育、連携のしやすい場所を模索して、地図上に落とし込んでいくところ。
委員長	他には、いかがか。
委員	旧小川高校の件については可能性があるので、使うという方向で打ち出した方が良くと思う。色々と議論して細かいことを言っても、実施と方向性は、全く別のものだと思う。方向性としては、利用価値があるという方向で進んでいった方が良くと思う。
委員長	他には、いかがか。
委員	野田、上吉影、下吉影の統合に関する事。今の話だと、野田と上吉影は小川北中学校の近くという案が出そうかと思う。下吉影は、今の位置に是非お願ひしたいというような方向性で終わったというようなことだった。この後のことだと思うが、下吉影小学校が出来てから、十何年しか経っていない。例えば、そこを学童等に利用といったような考えは、事務局や教育委員会としてはあるのか。
事務局	学校の跡地利用は、それぞれの地域協議会で協議をしていくことになっている。事務局としては、周辺市町村の活用状況等、どういったものが出来るのか等を情報提供しながら、それぞれの地域に合った活用法を見出していきたいというようなことを考えている。よろしくお願ひしたい。
委員長	いかがか。進捗状況等を確認いただいているようであれば、事務局から今後の進め方や流れについて説明をいただくことにして、協議を進めたいと思う。よろしいか。
事務局	では、小学校区地域協議会の報告に関わる協議については、ここまでとしたい。その他ということで、今後の予定等を事務局から説明をいただきたい。現在、ここに参加されている委員の任期は、3月31日までになっている。それに伴い、明日をもって任を解かれるところだが、現状は、最終答申までの最終段階にきている。来年1年間続くというものでもなく、早ければ4月中に、各々の代表会議の結論が出揃うというところ。代表会議の方向性が示された後、検討委員会から最終答申を示すという形になる。なので、検討委員会の開催も、あと1、2回になってこようかと思う。ここから、また委員

の皆さんを委嘱し直して1からとなると、時間を要するようになってしまう。なので、出来れば現在の委員に継続して残っていただいて、最終答申を一緒に検討していただければと思っている。また、内田委員は、3月31日をもって、校長職を定年退職される。なので、内田校長は委員を解かれ、その後の市校長会の会長に引き継いでいただくという形をとりたいと思う。他の委員は、出来れば継続して協議に参加していただきたいと思っている。スケジュールは、早くて4月中、ずれ込んでも5月中には最終答申を示せるように進めていきたいと思っている。ただ、地域協議会並びに代表会議の協議によっては、その部分が遅れることになるかと思う。事務局としては、継続されている野田、上吉影、下吉影並びに玉里地区の地域協議会において、スピード感を持って進めていければと考えている。

委員長 説明があったように、検討委員会の委員の方々は継続して、あと数回付き合いたいだけだと思う。また、最終答申に向けて、今後も議論を進めていければと思う。協議会の結果を待ちたい。

14:58 閉会